



台風シーズン到来 荒天時の対策を万全に!!

東北地方では、台風の接近・通過による**高潮・高波**により、過去10年間で港内係留・錨泊中の漁船74隻で転覆、浸水、流出などの被害が発生しており、原因は係留索が短い、開口部の閉め忘れなど初歩的なミスによるものが大半を占めています。

転覆や浸水、破損などの被害を受けると、油が流出するなどの二次災害の引き金となる危険性があります。

台風襲来時は、最新の気象情報を入手するのはもちろんのことですが、**余裕を持った時期に荒天対策をとる**ことが重要です。

荒天対策のポイント！

- ☆船舶は可能であれば**陸上保管**をしましょう！
- ☆**係留強化**に合わせて、係留索の点検をしましょう！
- ☆**開口部**は確実に**閉鎖**しましょう！
- ☆擦れあて、防舷物(フェンダー)は**適切な位置に、適切な数量**を設置しましょう！
- ☆係留索は高潮などによる**潮位変化**を考慮して調整しましょう！



第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609



漁船かわら版

検索

トラブル時に備え「救助支援者」を確保しましょう！

海上で船舶が動かなくなると、波に流されたり、位置を見失うことにより転覆や乗揚げなどの大きな事故に繋がります。海上では小さなミスが命取りになることを再認識し、常に事故防止を意識してください。また、万が一の場合でも直ぐに救助を求められるように、家族などの「救助支援者」を確保し、定時連絡を行うなどして、入港までの連絡手段を確保しましょう。

1 発航前の仲間や家族への連絡



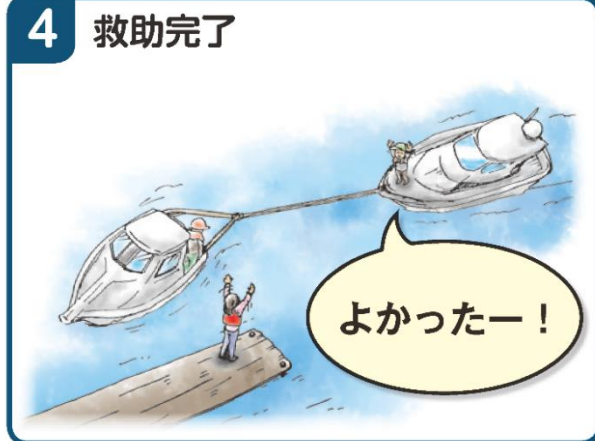
2 定時連絡の実施



3 救助要請



4 救助完了



発航前点検の確実な実施！

漁船海難で最も多い事故の種類は「衝突」ですが、次いで多いのが「機関故障」です。船舶は海上において命を預けるものであり、また大切な財産です。出発前には、船体とエンジン周り、燃料の量、バッテリー状態などをしっかり点検し、最新の気象情報を入手し安全な航海を心がけましょう。

～ 海のもしもは118番 ～

海の事件・事故は、海上保安庁緊急通報番号118番へ通報してください

H30 東北地方 漁船事故発生状況（7月末現在）

青森県

岩手県

宮城県

秋田県

山形県

福島県

4隻

5隻

4隻

1隻

4隻

3隻

死者数：1人